

社会とともに発展する一社会貢献活動一

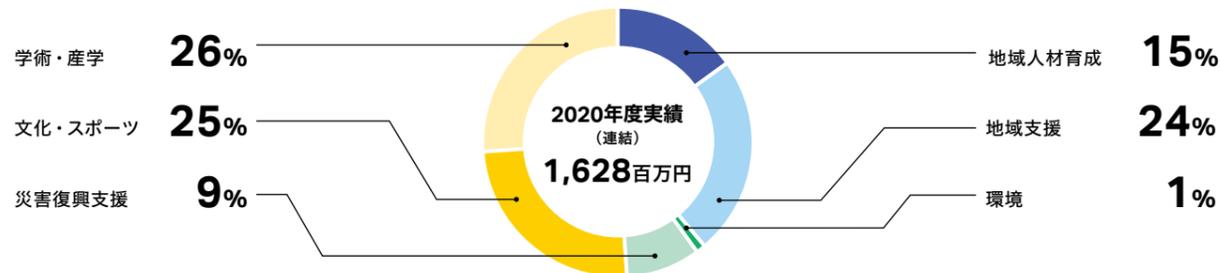
コマツは、事業を行う地域への「社会貢献活動」も企業の責任の一つであると考えています。

当社では「CSR重点3分野に沿った活動のうち、直接的な収益

を目的としないもの」を取り組むべき社会貢献活動と位置付け、本業の強みを活かした社会還元に取り組んでいます。

2020年度 社会貢献活動実績

コマツの社会貢献活動を、一般的な6つのカテゴリーに分類して集計した結果は以下のとおりです。



社会貢献活動実績(形態別)

形態	金額
金銭支援	582百万円
社員の派遣など (時間を金額換算)	142百万円
自社施設の地域開放など	172百万円
イベント開催などの経費	732百万円
合計	1,628百万円

地雷除去／不発弾除去とともに農業支援プロジェクトを拡大

コマツは2008年から認定特定非営利活動法人「日本地雷処理を支援する会(JMAS)」と提携し、カンボジアをはじめとする対地雷害の被害に苦しむ地域において、地雷除去とその跡地の復興事業(道路や橋梁、小学校校舎などの建設)を支援してきました。2016年からはラオスにおける不発弾除去活動の支援も展開しています。不発弾として残ったクラスター子弾を機械処理することを目的として、コマツは機材の無償貸与と技術支援を行っています。カンボジアにおいて2020年から開始した農業支援プロジェクトでは、ブルドーザーや油圧ショベル等の機材を活用し

て、農業の促進を図っています。ICT技術によってブレードの動きが自動制御されたブルドーザーは、農地の均平化(地表の凹凸を無くし、平らに均す作業)に有効です。2020年度は約13ヘクタールの農地均平化を実現し、米の収量をアップさせ、農家の皆さまから高い評価をいただきました。2021年度は更なる均平化の拡大に取り組んでいきます。

地雷除去についてはこちらをご覧ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=uPSj1S4UnE4>



ビジネスと人権

1.人権方針の策定

コマツは、2019年9月に「人権に関する方針」を策定し、国際基準に準拠した人権の尊重をグローバルな組織全体に適用して事業を行うことを宣言しました。この方針に基づき、当社は人権への負の影響が生じることの防止・緩和措置、また、人権への負の影響を発生させた、または関与していたことが明らかになった場合は是正を図るプロセスを整備・実践していきます。

この人権方針は「コマツの行動基準」(2021年改訂)に入れ込み、全世界のグループ全社員に徹底しています。

2.人権デューデリジェンス

以下の人権デューデリジェンスプロセスを継続的に回していくことにより、事業における人権課題を洗い出し、それぞれの課題に対する具体的な運用計画を明確にします。

(1)人権リスクアセスメント・インパクトアセスメント

「リスクアセスメント」は、事業活動が影響を及ぼしうる人権リスクの評価特定を行うステップであり、これまでに以下のとおり実施しています。

2014年	社外専門家であるBSR社(Business for Social Responsibility)の支援を得ながら、グローバルに展開する建設・鉱山・林業機械事業を対象に、人権課題のリスクアセスメントを実施。
2017年	BSR社の協力を得て第二回人権リスクアセスメントを実施。実施にあたっては「世界人権宣言」ならびに国連「ビジネスと人権に関する指導原則」を参照。
2020年	社外専門家であるCSR Europeの支援を得ながら、建設・鉱山・林業機械事業のダウンストリームビジネス(本体・補給部品の販売)を対象に、全世界を対象とする体系的な人権リスクアセスメントを実施。当社の事業特性を踏まえ、「人種・民族・出身国による差別」「強制労働・結社の自由・公正な労働条件」等多面的なリスク評価を行い、事業ごと、地域ごとに潜在的な課題の特定と優先順位付けを実施。

(2)スクリーニングの実施

コマツは全世界の事業において、サンクションリストなどで指定された相手先との取引をチェックし規制するスクリーニングシステムを構築しており、国際法規制などに基づく(禁輸等の)措置の遵守を図っています。今後この対象範囲を拡大し、責任ある販売アプローチとポリシーへ拡大するため、調査検討を進めています。

た2020年度からは、サプライチェーンへのCSRの更なる浸透を図るため、国内外の1次サプライヤに対しCSR活動に関するSAQ (Self Assessment Questionnaire) アンケートに着手しました。2020年度は、まず日本国内の主要調達先である「みどり会」の156社を対象に実施し、これまでに77社から回答を得ています。詳細については<https://komatsu.disclosure.site/ja/themes/185>を参照ください。

(3)社員および代理店への展開

社員に対しては、人権方針の周知徹底や、負の影響に対する防止・緩和措置について啓発を図るe-ラーニングに着手し、2020年7月、日本と米国の全社員への実施を皮切りに、グローバルでの実施を目指しています。

世界各地で当社製品の販売・サービスを担う代理店の多くは資本関係を持ちませんが、それらビジネスパートナーと連携し、代理店契約への「事業における人権の尊重を誓約する」条項の追加に加え、それぞれの地域や事業の実態に即した「人権方針」の策定と自主デューデリジェンスの実施について対話をしています。

(4)サプライチェーンへの展開

コマツはサプライヤー(調達先企業)の人権尊重に向けた取り組みとして、CSR調達ガイドラインの啓発活動を実施しています。ま

ミャンマーにおける人権の取り組み

Topics

コマツは、潜在的リスクがあるとされる地域であるミャンマーについて、2019年以降、社外専門機関を交えたデューデリジェンスを実施し、問題点の特定と対処のための議論を行いました。

その結論を踏まえ、2019年以降、当社はミャンマー国内の翡翠鉱山向け鉱山機械本体の販売をしないことを決定しました。併せて鉱山機械のメンテナンス子会社のオペレーションを停止済みであり、法人も清算中です。引き続き、ミャンマーの販売代理店や外部の専門家と更に連携し、事業における人権の尊重を強化するための効果的な対策を講じます。



社員参加型社会貢献プログラム One World One Komatsu

コマツでは、CSRを「本業を通じて社会の要請に応じていく活動」と位置付け、ESG課題の解決を通じて社会とともに持続的な成長を目指しています。創立100周年を迎えるにあたり、コマツグループとして初の全社員が参加可能なグローバルな取り組みである社員参加型社会貢献プログラム「One World One Komatsu」を開始しました。

「One World One Komatsu」では、世界共通の課題であり、我々の事業とも親和性の高い「環境・サステナビリティ」をテーマと

して、社員一人ひとりが、「水の使用量を減らす」「使わない部屋の電気を消す」といった、日常生活のなかで身近な活動に取り組みます。活動を促進するため、一人ひとりの活動をグループ全体で集約できる専用のプラットフォームを立ち上げました。この新たなプラットフォームには、パソコンやスマートフォンから手軽にログインが可能です。コマツは、国や言語の違いを超えて、世界中のグループ社員がつながり、共通の目標に向かう一体感を醸成しながら、持続可能な地球のための活動を推進していきます。

One World One Komatsuの4つ優先テーマ



One World One Komatsu活動実績

完了したアクションの総数	100,158
参加チーム(事業所)数 (2021年8月5日現在)	344

Topics

「One World One Komatsu」プログラムは、世界規模での持続可能性のために従業員を団結させる取り組みです。

2020年8月にパイロットプログラムとして開始された、コマツ初のグローバルCSRイニシアチブ「One World One Komatsu(以下One World)」は、コマツの創立100周年にあたる2021年に急成長を遂げました。オンラインプラットフォームである「One World」では日常生活のなかで、「環境」をテーマとした持続可能な行動をとることが奨励され、このような行動を全世界のグループ社員に広げていくことにより地球環境の保全をサポートするグローバルな動きとなります。

世界的なパンデミックの最中に開始されたにもかかわらず、One Worldはプラットフォーム内でバーチャルに社員同士を結び付けました。環境に焦点を当てたこのプログラムでは、コマツの社員がチームとして1年の間にさまざまなサステナビリティの優先課題に焦点を当て、関連する活動に参加することを奨励され、それを行うことでポイントを獲得します。社員は、学んだことについて写真やコメントを共有したり、お互いの活動にコメントして励まし合ったり、One Worldのアイデアボードで未来へのインスピレーションを共有したりすることができます。

コマツのグローバルCSRチームは、2021年にOne Worldプログラムへのアクセスを社内のすべてのエリアに拡大する一方で、このプラットフォームを活用して、コマツにとって2つの初の試みを行いました。それは、国連のアースデイ(地球の日)の全世界一斉ボランティア活動と、社員を対象とした世界的なサステナビリティ・コンペティション「One World One Komatsu コンテスト」の開催です。

アースデイの活動は、2021年4月22日に世界中のコマツの社員が「アースデイ・チャレンジ」として、右記のような環境活動を行いました。



Caley Clinton
Senior Manager PR CSR and Content
Komatsu Mining Corp. and Komatsu America Corp

【コマツアースデイイベント活動実績】

- ① 木や原生種の植樹 14,000本以上
- ② 収集ゴミ袋数 3,500枚以上
- ③ 延べ活動時間 15,000時間以上

コマツが世界各地で開催した「アースデイ」のビデオをご覧ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=sXiQN8fvQvU&list=PLI09JNAS3JIEgHkUWebDvJICWaJaQqm3L&index=6>



コロナウイルス感染拡大防止のため、社員は個人または小グループで作業を行い、その様子をOne Worldプラットフォームに写真やビデオで登録し、それらは世界中の投稿を紹介するグローバルウォッチパーティにて上映され、世界中のコマツの社員で共有しました。

「One World One Komatsu コンテスト」は、6月の国連の世界環境デーに合わせて開始したもので、10のカテゴリーに分かれており、カテゴリーごとの受賞者は、2022年3月に日本で予定されている授賞式への参加権を獲得することができます。カテゴリーには、One Worldプラットフォーム内でのコンテストに特化したものや、持続可能性についてクリエイティブに考えることを奨励するもの、環境への責任を果たした同僚を表彰するものなどがあります。

コマツのCSRへの取り組みについての概要ビデオをご覧ください。
<https://www.youtube.com/watch?v=nOJ4ZrXe588&list=PLI09JNAS3JIGOCKNiCo8St7zLm6DUrcLC&index=2>

